ハンドマイク街頭演説原稿例　石破首相所信表明演説（速報）

二〇二四年十二月一日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　十一月二十九日、石破茂総理が国会で所信表明演説に立ちました。石破さんは冒頭、「民主主義のあるべき姿とは、多様な国民の声を反映した各党派が、真しに政策を協議し、よりよい成案を得ることだ」と述べました。さらに「先般の選挙で示された国民の声を踏まえ…国民の安心と安全を守るべく、取り組んでいく」とも表明しました。総選挙で自民・公明の与党が衆議院で過半数を割り込むという歴史的な大敗北を喫し、これまで国民の声や野党の反対を無視して予算や法律などを押し通してきた強権政治が通用しなくなったことを示しているのではないでしょうか。

　みなさん、総選挙で国民が下した審判は、何より自民党の裏金問題への怒りではなかったでしょうか。石破さんも演説の中で、「先の選挙結果は、主権者である国民からの、政治資金問題や改革姿勢に対する叱責だった」と認めています。ところが、国民が求めている裏金問題の真相究明や、金権腐敗を一掃する「政治改革」の要である企業・団体献金禁止には、一切言及しませんでした。国民の怒りを理解していないと言わざるを得ません。

　裏金問題にこれだけの国民の怒りが沸き起こったのは、物価高騰や賃金低迷などによる暮らしの困難に対して無為無策という、自公政権の経済政策の失敗に対する不信や批判があったのではないでしょうか。石破さんは経済政策として、「１０３万円の壁」について来年度の税制改定で「引き上げる」と表明しました。生計費非課税の原則、生活に必要なお金に税金はかけないとう基本的な考え方に立てば、課税最低限を現行の１０３万円から、物価高騰や賃上げの水準を超えて引き上げるのは当然です。加えて、税制全体を改革し、生活必需品にも容赦なく課税される消費税を緊急に減税し、廃止へ向かうことが必要です。大きなもうけをあげている大企業や超富裕層への優遇税制を改めることも不可欠です。しかし石破さんは、このあたりについては逆方向を向いています。

　ところでみなさん、広島、長崎の被爆者でつくる日本被団協がノーベル平和賞を受賞しましたが、石破さんは所信表明演説でこのことに一言も触れませんでした。沖縄県民の民意を踏みにじる辺野古新基地建設や、国民の多くが存続を求める健康保険証の廃止なども改めて表明しました。高齢者の医療・介護の３割負担の拡大や国民健康保険税の値上げなど、社会保障の公費負担を二〇二八年度までに１・１兆円も削減する「改革工程」の具体化まで明言しました。

　「国民の安心と安全を守る」には、財界・大企業の利益最優先、日米軍事同盟絶対の政治のゆがみを正すことが必要だと、日本共産党は考えています。これからの国会論戦で、日本共産党はこの立場で全力をあげます。引き続きのご支持、ご協力をお願いいたします。

　自民党の裏金問題を最初にスクープした、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）